

見積参加者選考調書（特定随意契約用）

調 達 件 名	札幌市電子入札システムコールセンター提供業務
発 注 課	財政局管財部契約管理課
選 定 事 業 者	富士通株式会社 北海道支社
随意契約の理由（相手方を特定した理由を含む。）	
<p>電子入札を実施する全国の公共発注機関は、一財）日本建設情報総合センター（以下「JACIC」という。）が提供するソフトウェア「電子入札コアシステム」を使用している。これは、（米）オラクル社のソフトウェアパッケージ（Java）を使用しているが、オラクル社は2020年9月末で、有償サポートを終了する。そのため、JACICは2019年11月に脱Java対応を行った。</p> <p>本市の脱Java改修業務は、JACICの脱Java対応の後でなければ着手することができないため、2019年11月から2020年9月末までという短期間での改修業務を余儀なくされた。</p> <p>この改修業務は富士通（株）が履行しているが、2020年7月に改修完了目途が立ち、現在は2020年9月23日のリリースを目指し最終段階のテスト作業を行っている。</p> <p>リリース後は事業者側のパソコンにおいて、新たなアプリケーションのインストールと設定の変更作業が必要なことから、9月23日からの4か月間で、対象事業者3,100者のうち1/3程度（1,000者）から問い合わせが想定される状況にあり、1件当たりの対応時間は1時間程度と見込まれている。</p> <p>短期間での改修業務を余儀なくされたことで、最終段階のテストの完了からリリースまでに期間が無い中、事業者からの問い合わせに迅速かつ的確に対応するためには、改修業務を履行し問い合わせのノウハウ等を熟知する富士通（株）でなければ不可能である。</p> <p>以上のことから、本業務の調達競争入札に適しないものとして、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号を適用し、富士通（株）と特定随意契約を締結する必要がある。</p>	
根 拠 法 令	地方自治法施行令第167 条の 2 第 1 項 第 2 号
決 定 日	令和 2 年 9 月 9 日